

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆続報

11月27日 7年間継続した前兆が終息！ 再出現なければ=11月30日発生可能性



(前兆再出現の場合=12月02日±の可能性)

CH02のみが断続的に前兆出現

本日深夜までに終息すれば11月30日の可能性。深夜までに終息しない場合は

No.1778長期継続前兆についての続報です。昨日11月26日より短時間ですが、全前兆終息の時間帯が出現致しました。本日午後2時半過ぎから、全前兆終息の時間帯が多く出現し、午後3時以降はCH02のみとなりました。CH02も断続的に正常基線を記録しております。

第9ステージの初現認識=11月15.0日

第9ステージの極大認識=11月20.5日

とした場合、T_{ap}:T_{map}=20:13 経験則からは、11月30日発生の可能性が計算できます。11月30日発生の場合には、前兆終息は11月28日未明迄と計算できます。

7年間継続し続けてきた前兆が本日、

長い時間静穏基線を記録し、CH02のみ前兆が断続的に出現している現状、本日深夜までに終息する可能性は考えられます。

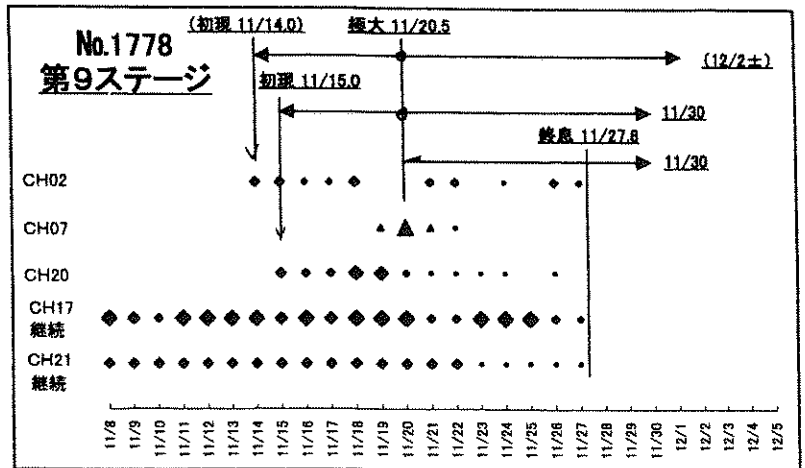
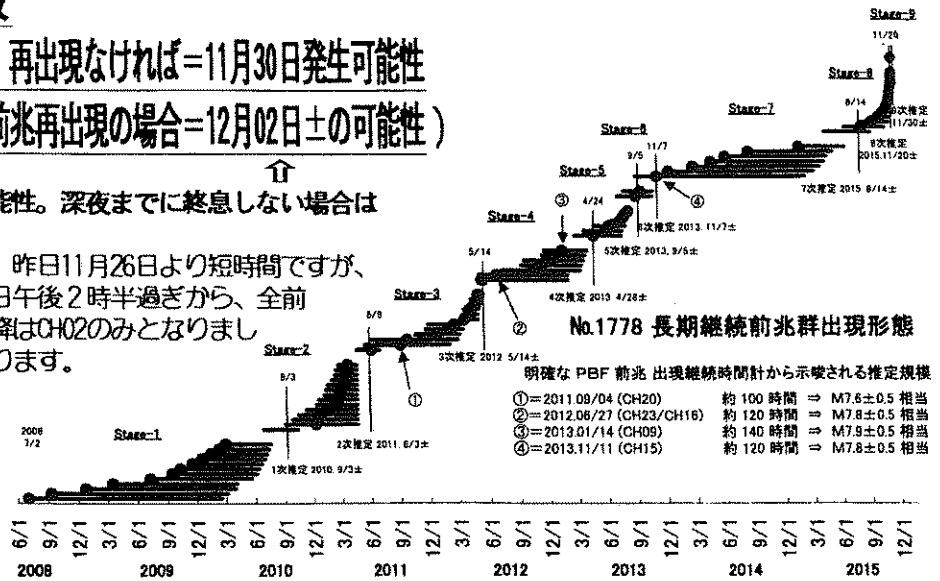
その場合は、11月30日発生の可能性を支持することになります。仮に本日深夜までに終息しない場合の可能性は、初現認識=11月14.0日(CH02)と考えますと、12月02日±発生の可能性が計算できます。

11月中旬は第8ステージの示す11月20日に対し、多数の極大が出現し、11月20日前は非常に多くの極大が次々と出現していますので、初現認識が難しい状況です。このCH02以外には初現認識は困難です。

11月14日初現~11月20日極大で計算される12月02日±発生の場合には、11月29~30日終息が計算されます。

※右図の終息は本日深夜終息の場合で計算した値です。

ちなみに本日27日 16:30現在、全前兆終息中です。



HP閲覧の皆様へ

本日の夜以降の前兆状況につきましては続報したいのですが好意で本HPを作成運営されておられる方が出張のため、明日28日~30日夜迄、更新作業が不可能とのことです。E-mailとFAXで日々配信しております公開実験

◆推定領域: 右図 太線領域内=大枠推定領域 斜線領域=可能性が考え易い推定領域

◆推定規模: M7.8 ± 0.5

◆推定時期: 前兆再出現ない場合=11月30日

(※前兆再出現の場合=12月2日±1) (この場合は実際の前兆終息観測後推定)

◇推定地震種: 震源が浅い日本列島の地殻地震
◇推定発生時刻: 午前9時±1 (又は午後6時±3)

※本解析に間違いがある可能性も否認しません。その場合は推定と異なる地震活動となる可能性もあり得ます。その場合は、大変申し訳なく思います。



参加の皆様へは、実験観測情報で明日以降も状況報告ができますが、HPの更新はできないとのことですのでご了承下さい。30日に発生が無い場合は30日深夜か12月01日に続報配信させて戴く予定です。